

定年を迎える教授の

特別寄稿

退職に際して



鈴木尚志

医学部 麻酔科学講座 (江東豊洲病院)

私は1981年に本学を卒業し、後に学長を務められた細田明義先生が主宰されていた麻酔科学教室に入局しました。当時、先生は麻酔科の2代目教授に就任したばかりの少壮気鋭の教授でした。当時の様子といえは、用手的な人工呼吸と血圧測定は当り前、心電図モニターは手術部の全室には配置がなく、手術で

世話になりました。他の医局の出身者と仕事する機会を得て、多様な考えや作法の違いを知りました。次いで異動した江東豊洲病院では、準備段階から関与して現在に至っています。本院麻酔科や歯科麻酔科の援助のもとに手術件数は堅調に増加し、病床あたりの手術件数では他の附属病院に比して群を抜いています。

急性期病院においては手術の質と量が病院経営を左右するので、手術件数の増加要求は高まるばかりです。学内の麻酔科医の絶対数は増えましたが、需給関係は入局当時よりも悪化しています。マンパワーの確保は喫緊かつ継続的な課題です。当節の能動的な医師は、知識・技術・経験・研究機会、資格を、また、より良い労働環境や経済的代価を得るために、その時々で対応しい施設を探してキャリアを重ねています。終身雇用や年功序列という一言からの過剰な期待は、医師は現代にそぐわないようです。

「生涯現役」の想いと「老害」の憂いは交錯しますが、暫時、特任教授として勤務する予定です。かくして当直医の最年長記録も更新しそうです。これまで大過なく勤務を続けられたのは周囲の方々の支えのおかげです。紙面を借りて御礼申し上げます。

若月英三両教授の後任として杜の都仙台から花の都東京の昭和大学に赴任し、あつという間に退職となりつつあった。当時からすでに始まっていた大学教育改革の流れの中で、後藤麻生学部長のもとで学生主体型学習の実践の方略として問題解決型学習(PBL)を国内の歯学部としていち早く導入し、宮崎歯学部学部長になって、昭和大学においても4学部連携教育の方略として採用されて今日に至っています。PBL導入にあたってはアメリカ大学、南カリフォルニア大学や香港大学を実

際に視察し、また、昭和大学独自の客観的臨床能力試験を行うことを決め、その実践のために香港大学に学部長はじめ教員の派遣に関与することができました。また、学生の国際交流の開始にも関与することができました。

歯学部創立30周年記念事業では私の恩師である南カリフォルニア大学からDr. Steven G. Stankus 歯学部長と Dr. Robert S. Seidman 副学部長(2004年全米歯科医師会会長)を招き開催したことや、昭和大学国際教育センターでジョウに留学時代同期であった Charles Sherriff リティッシュコロンビア大学歯学部学部長を招聘し、開催できたことも大変うれしい思い出です。

講座の教育においては、2007年に口腔組織学講座教授の佐々木崇寿教授が現役でご逝去されたことを受け、翌年から講座が統合され、解剖学関連の教育をすべて行う体制となりました。講座所属の先生方のおかげで、今日まで滞りなく教育を行うことが出来たと思っています。

研究は学内外の先生方のご協力の下、東北大学時代からの研究並びに昭和大学赴任後に新たに開始した研究を充実した環境で遂行することが出来ました。

最後に、現在コロナ禍の環境で、大学教育の環境も大きく変化しています。昭和大学は学習者主体の教育をいち早く立ち上げ実践している大学です。この環境を選びすぐれた教育を実践するための契機と捉え、実践に誇れる優れた教育実践校として発展することを祈念して、退職のご挨拶いたします。



長谷川真

医学部 放射線医学講座 (放射線科学部門) (江東豊洲病院)

本年度で退職を迎えることとなりまして、富士吉田入寮から40年以上も昭和大学のお世話になり、感無量です。卒業後、私は直ちに放射

線医学教室に入局しました。一時、太田熱海病院、埼玉医科大学放射線科に在籍し、実務、研究、教育を行ってきました。当初は核医学の研究に従事し、鉄が肝機能に与える影響を画像解析する研究が博士論文となりました。放射線科専門医を取得後、MRIを利用した画像診断を中心とした実務、研究、教育に従事しています。

当時、MRI検査では、経口する造影剤が無いため、腸管や周囲臓器の診断に苦慮することが多く、消化管造影剤を研究対象としました。緑茶が、MRI経口造影剤として利用可能である

ことがわかりましたが、学会発表後、新聞、TVニュースで取り上げられ、緑茶のMRI造影検査希望が九州からも寄せられ、マスコミの影響に驚かされました。

また、腹部のMRI画像診断を中心に研究をおこなった。英国 Royal Brompton 病院、米国 Redland 病院、放射線科への留学機会を得て、心、血管MRIの研究にも従事しました。冠動脈MRAの黎明期であり最先端施設で、世界をリードする研究者との仕事から、研究方法論、独創性、他科との連携の重要性を理解することができました。

現在私がいるのは、故・菱田豊彦教授、宗近宏次教授、故・平敷淳子教授、埼玉医科大学、後関武彦教授をはじめとした諸先輩のご指導のおかげであり、深く感謝しております。今しばらくは、江東豊洲病院勤務の予定です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、現在コロナ禍の環境で、大学教育の環境も大きく変化しています。昭和大学は学習者主体の教育をいち早く立ち上げ実践している大学です。この環境を選びすぐれた教育を実践するための契機と捉え、実践に誇れる優れた教育実践校として発展することを祈念して、退職のご挨拶いたします。

現在私がいるのは、故・菱田豊彦教授、宗近宏次教授、故・平敷淳子教授、埼玉医科大学、後関武彦教授をはじめとした諸先輩のご指導のおかげであり、深く感謝しております。今しばらくは、江東豊洲病院勤務の予定です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、現在コロナ禍の環境で、大学教育の環境も大きく変化しています。昭和大学は学習者主体の教育をいち早く立ち上げ実践している大学です。この環境を選びすぐれた教育を実践するための契機と捉え、実践に誇れる優れた教育実践校として発展することを祈念して、退職のご挨拶いたします。

最後に、現在コロナ禍の環境で、大学教育の環境も大きく変化しています。昭和大学は学習者主体の教育をいち早く立ち上げ実践している大学です。この環境を選びすぐれた教育を実践するための契機と捉え、実践に誇れる優れた教育実践校として発展することを祈念して、退職のご挨拶いたします。

定年退職に際して



中村雅典

歯学部 口腔解剖学講座

2001年に滝口励司、若月英三両教授の後任として杜の都仙台から花の都東京の昭和大学に赴任し、あつという間に退職となりつつあった。当時からすでに始まっていた大学教育改革の流れの中で、後藤麻生学部長のもとで学生主体型学習の実践の方略として問題解決型学習(PBL)を国内の歯学部としていち早く導入し、宮崎歯学部学部長になって、昭和大学においても4学部連携教育の方略として採用されて今日に至っています。PBL導入にあたってはアメリカ大学、南カリフォルニア大学や香港大学を実

際に視察し、また、昭和大学独自の客観的臨床能力試験を行うことを決め、その実践のために香港大学に学部長はじめ教員の派遣に関与することができました。また、学生の国際交流の開始にも関与することができました。

歯学部創立30周年記念事業では私の恩師である南カリフォルニア大学からDr. Steven G. Stankus 歯学部長と Dr. Robert S. Seidman 副学部長(2004年全米歯科医師会会長)を招き開催したことや、昭和大学国際教育センターでジョウに留学時代同期であった Charles Sherriff リティッシュコロンビア大学歯学部学部長を招聘し、開催できたことも大変うれしい思い出です。

講座の教育においては、2007年に口腔組織学講座教授の佐々木崇寿教授が現役でご逝去されたことを受け、翌年から講座が統合され、解剖学関連の教育をすべて行う体制となりました。講座所属の先生方のおかげで、今日まで滞りなく教育を行うことが出来たと思っています。

研究は学内外の先生方のご協力の下、東北大学時代からの研究並びに昭和大学赴任後に新たに開始した研究を充実した環境で遂行することが出来ました。

最後に、現在コロナ禍の環境で、大学教育の環境も大きく変化しています。昭和大学は学習者主体の教育をいち早く立ち上げ実践している大学です。この環境を選びすぐれた教育を実践するための契機と捉え、実践に誇れる優れた教育実践校として発展することを祈念して、退職のご挨拶いたします。

最後に、現在コロナ禍の環境で、大学教育の環境も大きく変化しています。昭和大学は学習者主体の教育をいち早く立ち上げ実践している大学です。この環境を選びすぐれた教育を実践するための契機と捉え、実践に誇れる優れた教育実践校として発展することを祈念して、退職のご挨拶いたします。

定年退職に際して



伊藤喬

薬学部 基礎薬学講座 薬化学部門

1983年に東京大学大学院を修了し、井田浩教授(当時薬学部学部長)が主宰されていた薬化学教室に奉職して以来、38年間本学にお世話になりました。当時は含窒素複素環系化合物研究がテーマでした。その後、活性酸素や窒素酸化物の有機反応、有機触媒反応の開発、生活活性天然物の全合成等に研究を展開し、多くの学生に研究の面白さを体験してもらいました。その結果、病院長・薬学薬剤師から企業研究者、大学教職員に至るまで多くの優秀な卒業生を送り出すことができたと思っております。

在籍中、最も印象深い出来事は、薬学部が4年制から6年制に移行したことです。6年制移行の根拠となる薬学教育モデルコアカリキュラムが、実は本学3号館で産声を上げたことを知る人は少ないと思います。

当時の衛生化学教授故工藤先生(のちに、戸部、山元両先生と私が集まり、薬学版のGIO、SBOsを、他学部の見よう見まねで作成し始めたのがその始まりでした。その後、全国の教員数百名が参加する大プロジェクトとなり、1988年ハワイ大学呼吸療法学科に入学し、フロリダ大学シヤンズ病院呼吸療法部で臨床

わたり勤めさせていただき、いただきました。これらのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、現在コロナ禍の環境で、大学教育の環境も大きく変化しています。昭和大学は学習者主体の教育をいち早く立ち上げ実践している大学です。この環境を選びすぐれた教育を実践するための契機と捉え、実践に誇れる優れた教育実践校として発展することを祈念して、退職のご挨拶いたします。

定年退職に際して



宮川哲夫

保健医療学部 理学療法学科

1994年より27年間にわたり勤めさせていただき、いただきました。これらのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

森義明先生のお誘いを受け、1994年から昭和大学医療短期大学開設準備室に参りました。1997年に医療短期大学が開設され、2002年保健医療学部に変更され、2007年には大学院修士課程、2012年には大学院博士課程が開設されました。その間、入試委員長、学生部長、教育委員長、学部主任と保健医療学部と共に歩んで参りました。理学療法学科の卒業生も21期生まで65名が巣立

床実習を行い、米国呼吸療法士の資格を取得いたしました。

最後に、現在コロナ禍の環境で、大学教育の環境も大きく変化しています。昭和大学は学習者主体の教育をいち早く立ち上げ実践している大学です。この環境を選びすぐれた教育を実践するための契機と捉え、実践に誇れる優れた教育実践校として発展することを祈念して、退職のご挨拶いたします。

Advertisement for Paramount Bed featuring a hospital room scene with a patient in bed and medical staff. Text includes 'ashuman, for human PARAMOUNT BED' and '最先端の技術で医療の明日に貢献します。' with website and phone information.